

ミュンヘン国立音楽大学教授

今峰 由香 ピアノ公開講座

～ヨーロッパのレッスン風景 第3弾～



－本当に音を聞くとする事－

－音色の変化－

－アーティキュレーション－

本当に「音を聞いて演奏する」とは具体的にどういうことでしょうか？
また、「音色の変化」と口で言うのは簡単ですが、実際に実践するためにはどのようなテクニックが必要なのでしょう？
アーティキュレーションとは本当はどういうこと？
どのようにレッスンすれば分かりやすいでしょうか。

日本のレッスンとヨーロッパのレッスンでは何が違うのか、日本のレッスンではあまり取り扱われていないと思う点など、日頃ドイツの音大で教えている中で気付いたことをお話ししたいと思います。
本場ヨーロッパで、重視されている事とはどういったことでしょうか。
ヨーロッパの音楽教育、留学に興味のある方にも興味深いエピソードを含め、ヨーロッパの香りをお届けします。

今峰 由香

<曲目>

モーツァルト ソナタ イ短調 KV310

シューベルト 即興曲 変ロ長調 作品142より 第3番

Profile

2002年、弱冠32歳でドイツの名門、ミュンヘン国立音楽大学ピアノ科教授に就任した気鋭のピアニスト。イタリアの国際講習会の講師として招聘されるなど後進の指導にも力を注ぎ、ドイツ音楽コンクールの審査員を勤める等、ヨーロッパを中心に多方面の活躍している。
大阪府出身、関西学院大学文学部卒業後ドイツへ渡り、94年、ミュンヘン国立音大を最優秀の成績で卒業。その後、ドイツ学術交流会（DAAD）奨学生として同大学院で学び、96年修了。また、ローマのサンタ・チェチリア音楽院にてさらに研鑽を積む。93年 ドイツ、ドルトムントにて行われた シューベルト国際ピアノ・コンクール第1位。95年 イタリア、カリアリでの“エンノ・ポリーノ”国際ピアノ・コンクール第2位。96年 イタリア、テルニにて行われた“アレッシンドロ・カサグランデ”国際ピアノ・コンクール優勝。97年 スイス、チューリッヒにおける“ゲザ・アンダ”国際コンクール第3位入賞など、数々の国際コンクールで成功をおさめる。その間、ミュンヘン交響楽団、トーンハレ交響楽団などの主要オーケストラとの共演、ヨーロッパを中心とした各地でのソロ・リサイタル、主要フェスティバルに招待されるなど活発な演奏活動を行い、ロリン・マゼール氏とも共演。そのブリリアントなテクニックとインスピレーションに満ちた繊細な演奏で、多くの聴衆を魅了し、ヨーロッパ各新聞でも絶賛されている。これまでに、坂 弘子、梅田志づ、宇野紀子、クラウス・シルデ、マルガリータ・ヘーエンリーダー、ミヒャエル・シェーファール、セルジオ・ペルティカローリの各氏に師事。

2014年 **4月16日(水)** 10:30～12:30

会 場／カワイ梅田 コンサートサロン ジュエ

入場料／一般 3000 円 会員 2500 円



2014年 **4月18日(金)** 10:30～12:30

会 場／カワイ表参道 コンサートサロン パウゼ

入場料／一般 3000 円 会員 2500 円



主催／カワイ音楽振興会

後援／一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会、(株)河合楽器製作所関西支社、(株)河合楽器製作所関東支社、カワイ音楽教育研究会

お申込・お問合せ／カワイ音楽振興会 03-5485-8511 カワイ梅田 06-6345-8300 カワイ表参道 03-3409-2511

☆ホームページからもお申込み頂けます。 <http://kawai-kmf.com/>